



TITLE:

表紙・投稿規定・プレプリント案内・編集後記・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・プレプリント案内・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1989, 52(6): 782-786

ISSUE DATE:

1989-09-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/93672>

RIGHT:

vol. 52 no. 6

物性研究

1989 / 9

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、立体“ \square ”、イタリック“ \sim ”、ゴシック“ \sim ”、ギリシャ文字“ γ ”、花文字、大文字、小文字等を赤で指定して下さい。又特に区別しにくいoとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xとX(カケル)、uとv、†(ダガー)と+(プラス)、 ψ と ϕ と φ と Φ 等も赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるもの（原則としてトレースされたもの）とそのコピーを本文と別に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。図の縮尺、拡大は致しません。図の説明を含め1頁（13×19cm）以内に入らないもの、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図中の文字は活字にいたしません。図の説明は別紙に書き、原稿に添えて下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ避けるようにして下さい。
8. 別刷御希望の方は投稿の際に50部以上10部単位でお申込み下さい。別刷代は別刷代金表（当会にご請求下さい）に従い、別刷を受取ってから1ヶ月以内に納めて下さい。（郵便切手による受付はいたしません。）
9. 原稿締切日は毎月5日で、原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、立体“ \square ”、イタリック“ \sim ”、ゴシック“ \sim ”、ギリシャ文字“ γ ”、花文字、大文字、小文字等を赤で指定して下さい。又特に区別しにくいoとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xとX(カケル)、uとv、†(ダガー)と+(プラス)、 ψ と ϕ と φ と Φ 等も赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるもの（原則としてトレースされたもの）とそのコピーを本文と別に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。図の縮尺、拡大は致しません。図の説明を含め1頁（13×19cm）以内に入らないもの、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図中の文字は活字にいたしません。図の説明は別紙に書き、原稿に添えて下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ避けるようにして下さい。
8. 別刷御希望の方は投稿の際に50部以上10部単位でお申込み下さい。別刷代は別刷代金表（当会にご請求下さい）に従い、別刷を受取ってから1ヶ月以内に納めて下さい。（郵便切手による受付はいたしません。）
9. 原稿締切日は毎月5日で、原則として次月発行誌に掲載されます。

プレプリント案内

〔東京大学理学部 和田研究室〕

1455

J. C. Phillips,
Quantum Percolation and Lattice Instabilities in High-T_c
Cuprate Superconductors

1456

J. C. Phillips,
Reconciliation of Normal-State and Superconductive Specific
Heat, Optical, Tunneling and Transport Data on YBCO

1457

J. C. Phillips,
Phase-Space Restrictions on Localized States in Metals

1458

M. Schluter, M. S. Hybertsen,
The Electronic Structure of La₂CuO₄: Renormalization from
Density Functional Theory to Strong Coupling Models

1459

W. P. Su,
Charge Density Wave and Superconductivity in a Two Dimensional
Electron-Phonon Model

1460

J. Yu, X. Y. Chen, W. P. Su,
Doping of Charge Density Wave in Ba_{1-x}K_xBiO₃

1461

A. F. Garito, J. R. Heflin, K. Y. Wong, O. Zamani-Khamiri,
Origin of Nonlinear Optical Properties of Rigid Rod Polymers

1462

A. F. Garito, J. R. Heflin, K. Y. Wong, O. Zamani-Khamiri,
Enhancement of Nonlinear Optical Properties of Conjugated Linear
Chains through Lowered Symmetry

1463

C. Grossman, J. R. Heflin, K. Y. Wong, O. Zamani-Khamiri
A. F. Garito,
Recent Nonlinear Optical Studies of MNA and Conjugated Linear
Chains

1464

M. Shirai, N. Suzuki, K. Motizuki,
Electron-Phonon Interaction and Superconductivity in
Ba_xK_{1-x}BiO₃

1465

K. Hida,
Bosonization Theory of the One Dimensional Coupled Spin-Fermion
Model

1466

U. Sum, K. Fesser, H. Buttner,
Mobility of kinks and polarons in conjugated polymers

1467

A. Fujimori,
Photoemission Studies of High-T_c Superconductors and Related
Compounds: Metal-Insulator Transitions

1468

K. Ebina, H. Miyagi,
Anisotropic Structures of Metallic Hydrogen

1469

C. T. Rogers, A. Inam, M. S. Hegde, B. Dutta, X. D. Wu
T. Venkatesan,
Fabrication of Heteroepitaxial YBa₂Cu₃O_{7-x} -
PrBa₂Cu₃O_{7-x} - YBa₂Cu₃O_{7-x} Josephson Devices Grown
by Laser Deposition

1470

D. Kalokitis, A. Fathy, V. Pendrick, R. Brown, B. Brycki
E. Belohoubek, L. Nazar, B. Wilkens, T. Venkatesan, A. Inam
X. D. Wu,
Measurement of Microwave Surface Resistance of Patterned
Superconducting Thin Films

1471

Inam, Wu, Nazar, Hegde, Rogers, Venkatesan, Simon, Daly
Padamsee, Kirchgessner, Moffat, Rubin, Shu, Kalokitis, Fathy
Pendrick, Brown, Brycki, Belohoubek, Drabeck, Gruner, Hammond,
Microwave Properties of Highly Oriented Y₁Ba₂Cu₃O_{7-x}
Thin Films

1472

A. Krasnitz, A. Kovner,
Hidden Weak Ferromagnetism in Slightly Doped Antiferromagnets

1473

A. Moreo, D. J. Scalapino, R. L. Sugar, S. R. White
N. E. Bickers,
Numerical Study of the Two-Dimensional Hubbard Model for Various
Band Fillings

1474

E. Y. Loh, Jr., J. E. Gubernatis, R. T. Scalettar, S. R. White
D. J. Scalapino, R. L. Sugar,
The Sign Problem in the Numerical Simulation of Many Electron
Systems

1475

N. Bulut, D. Hone, D. J. Scalapino, N. E. Bickers,
The Knight Shifts and Nuclear Spin Relaxation Rates for 2D
Models of CuO₂

1476

M. Ogata, H. Shiba,
Bethe Ansatz Wavefunction, Momentum Distribution and Spin
Correlation in One-Dimensional Strongly Correlated Hubbard Model

プレプリント案内

1477

T. Izuyama,
Pairing of Holes Created in a CuO_2 Plane of High T_c
Superconductors

1478

S. Ishizuka, T. Izuyama,
Mass Reduction Mechanism in High T_c Superconductivity --
Estimate of T_c --

1479

O. Biham, M. Jarrell, C. Jayaprakash,
The Spectral Function of the Anderson Model: A Quantum Monte
Carlo Calculation

1480

H. Takayama, K. Nemoto,
Spin Glass Properties of a Class of Mean Field Models

1481

T. Sambongi, K. Nomura, T. Shimizu, K. Ichimura, K. Kinoshita
M. Tokumoto, H. Anzai,
Non-linear conductivity in the spin density wave phase of
(TMTSF) $_2\text{ClO}_4$

1482

Y. Kitazawa, H. Murayama,
Topological Phase Transition of Anyon Systems

1483

M. Imada,
Numerical Simulation and Diagonalization for Models of High
Temperature Superconductors

1484

R. A. Lawrence, J. H. Burroughes, R. H. Friend,
Resonance Raman Spectroscopy of Accumulation Layers in
Durham-route Polyacetylene

1485

S. Ichimaru, S. Ogata, A. Nakano, H. Iyetomi, T. Tajima,
Monte Carlo Simulation Study of Short-Range Correlations between
Itinerant Hydrogen in Lattice Fields: Application to "Cold
Fusion"

1486

J. R. Schrieffer, X.-G. Wen, S.-C. Zhang,
The Spin Bag Mechanism of High Temperature Superconductivity

1487

S. Takeno,
Exact Anharmonic Localized Mode Solutions to the d-Dimensional
Discrete Nonlinear Klein-Gordon Equation

1488

S. Ogata, S. Ichimaru,
Evolution of Microscopic Bond-Orientational Order at Freezing
Transitions in Supercooled One-Component Plasmas

ニュース

〔九州大学理学部〕

○人のうごき

9月15日～10月25日 川崎恭治 (米国へ)

○特別講演会

8月28日 Dr. Heiner Müller-Krumbhaar (西ドイツ, Jülich研究所, 研究員)

“Ferrofluids: Dynamics of Taylor-Vortex-Flow”

9月16日 Prof. Xin Sun (中国, 上海市復旦大学)

“Electron Correlation in Conducting Polymers”

9月18日 Prof. B. J. Alder (米国, Lawrence Livermore National Lab.)

“Quantum Monte Carlo Calculations with. Application to
Chemistry, Plasma, Solid State, High Temperature Superconductivity and Helium”

編集後記

このところ、公募による「修士論文」が掲載されている。誰の提案によるものか知らないが本誌だけにみられるユニークな企画記事として定着しているが、これにも悩みがある。応募される論文は、いずれも力作揃いではあるが、各論文が年々大部になる。本誌の全ページをさいてもおさまりきれない程の長論文があり、即掲載可とは成り難い。

本誌52巻2号に掲載された信州大 足助尚志氏の修士論文「茅誠司におけるWeiss理論の受容の過程」を非常に興味深く読んだ。綿密な文献考証による歴史的なこだわりが活写されている。

「ガリレオ地動説に対する356年前の迫害の過ちをバチカンが正した」という最近のニュースは、西欧人の歴史に対する執拗なこだわり、永遠の時の流れの自覚に立って歴史的な過去にこだわり続ける西欧を象徴していると感じた。何とも息の長い話ではないか。

西欧では歴史が頑固な程に息づいている。ヨーロッパを旅すると、時間が止まっている様に感じることもある。歴史的建造物は大切に保存され、ほぼ100年前に着工され、いつ完成されるか見当もつかない聖堂が営々と築きつづけられている。外観的な風景は人々の内面の一つの投影にすぎない。彼らの心の中には、正真正銘、歴史が生きているのだと実感したのは、以前ドイツに滞在した時だった。

先年、原爆ドームの風化を目の当たりにした時にも同じ感慨を抱いたものだ。「戦争の過去」が西欧では外的、内的に風化されずに、こだわりを持ち続けている。この彼我の違いは、どこから来るのか。「桜花の如し人生」を旨として刹那に生きる我々日本人の体質に根ざしているのだろうか。

(Y. A.)

物 性 研 究 第52巻第6号 (平成元年 9 月号) 1989年9月20日発行

発行人	小 貫 明	〒606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万辺交差点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	15,600円		

編集後記

このところ、公募による「修士論文」が掲載されている。誰の提案によるものか知らないが本誌だけにみられるユニークな企画記事として定着しているが、これにも悩みがある。応募される論文は、いずれも力作揃いではあるが、各論文が年々大部になる。本誌の全ページをさいてもおさまりきれない程の長論文があり、即掲載可とは成り難い。

本誌52巻2号に掲載された信州大 足助尚志氏の修士論文「茅誠司におけるWeiss理論の受容の過程」を非常に興味深く読んだ。綿密な文献考証による歴史的なこだわりが活写されている。

「ガリレオ地動説に対する356年前の迫害の過ちをバチカンが正した」という最近のニュースは、西欧人の歴史に対する執拗なこだわり、永遠の時の流れの自覚に立って歴史的な過去にこだわり続ける西欧を象徴していると感じた。何とも息の長い話ではないか。

西欧では歴史が頑固な程に息づいている。ヨーロッパを旅すると、時間が止まっている様に感じることもある。歴史的建造物は大切に保存され、ほぼ100年前に着工され、いつ完成されるか見当もつかない聖堂が営々と築きつづけられている。外概的な風景は人々の内面の一つの投影にすぎない。彼らの心の中には、正真正銘、歴史が生きているのだと実感したのは、以前ドイツに滞在した時だった。

先年、原爆ドームの風化を目の当たりにした時にも同じ感慨を抱いたものだ。「戦争の過去」が西欧では外的、内的に風化されずに、こだわりを持ち続けている。この彼我の違いは、どこから来るのか。「桜花の如し人生」を旨として刹那に生きる我々日本人の体質に根ざしているのだろうか。

(Y. A.)

物 性 研 究 第52巻第6号 (平成元年 9 月号) 1989年9月20日発行

発行人	小 貫 明	〒606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所	〒606	京都市百万辺交差点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	15,600円		

会員規定

個人会員

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規入会お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

1年間の会費

1st volume (4月号～9月号)	4,200円
2nd volume (10月号～3月号)	4,200円
	計 8,400円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都1-5312) (現金書留は御遠慮下さい)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず会員本人の名前を明記して下さい。
3. 送本中止の場合：次の volume より送本中止を希望される場合、かならず「退会届」を送付して下さい。
4. 会費の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols. 以上の会費を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人宛送本中に大学等で一括配布を受けるようになった場合は、必ず「個人宛送本中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等により送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関会員

1. 会費：学校・研究所等での入会及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 1,300円、1 Vol. 7,800円、年間15,600円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。入会申込みをされる時、支払いに請求、見積、納品書が各何通必要かをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合：発行途上にある volume の途中送本中止は認められません。退会される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「退会届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

☎ (075) 753-7051 722-3540

物 性 研 究 52—6 (9月号) 目 次

○講義ノート

「相転移の動力学」.....太田 隆夫.....619

○銅酸化物高温超伝導の機構.....西村 久.....662

○修士論文題目・アブストラクト(1988年度) その1674

○プレプリント案内.....782

○ニュース.....785

○編集後記.....786

物 性 研 究 52—6 (9月号) 目 次

○講義ノート

「相転移の動力学」.....太田 隆夫.....619

○銅酸化物高温超伝導の機構.....西村 久.....662

○修士論文題目・アブストラクト (1988年度) その1674

○プレプリント案内.....782

○ニュース.....785

○編集後記.....786